

ヤドカリの”宿”を作るイソギンチャク「ヒメキンカライソギンチャク」が世界の注目すべき海洋生物の新種トップ 10（2022 年）に選ばれました

国際・地域連携研究センター地域連携研究分野（大槌研究拠点）の吉川晟弘特任研究者らが 2022 年に新種として発表した「ヒメキンカライソギンチャク *Stylobate calcifer*」が、国際的な海洋生物のデータベースである WoRMS から世界の注目すべき海洋生物の新種トップ 10（2022 年）（Ten remarkable new marine species from 2022）に選ばれました。

(1) 3 月 19 日は「分類学者に感謝する日」とされていて、それを記念して、海洋生物種の世界登録簿（WoRMS）では毎年、「注目すべき海洋生物の新種トップ 10」が選出されます。

(2) 今回選ばれたヒメキンカライソギンチャク *Stylobate calcifer* は、特定の 1 種のヤドカリと共生するだけでなく、その”宿”を作るという極めて独特な生態を持っています。

(3) “ヤドカリの城”を作るその姿になぞらえて、本種はスタジオジブリの映画「ハウルの動く城」の原作となった小説「Howl's Moving Castle」に登場する火の悪魔「カルシファー」に因んで、*Stylobates calcifer* と命名されました。

3 月 19 日、国際的な海洋生物のデータベースである World Register of Marine Species（通称 WoRMS）は、2022 年に新種記載された約 2,000 種の海洋生物の中から、注目すべき新種のトップ 10 を発表しました。その 1 種として、東京大学大気海洋研究所附属国際・地域連携研究センターの吉川特任研究者らを中心とする研究グループが発表した「ヒメキンカライソギンチャク *Stylobate calcifer*」が選ばれました。吉川研究者らが新種として記載したヒメキンカライソギンチャクは、ヤドカリが棲む巻貝の上に付着し、その”宿”を増築するという極めて珍しい生態を持ちます。いわば“ヤドカリの城”を作るその姿になぞらえて、本種はスタジオジブリの映画「ハウルの動く城」の原作となった小説「Howl's Moving Castle（日本語タイトル：魔法使いハウルと火の悪魔）」に登場する火の悪魔「カルシファー」に因んで、*Stylobates calcifer* と命名されました。これまでキンカライソギンチャク属の種は、世界中から 4 種のみ知られておりましたが、本種が 5 種目、かつ日本近海からは初の報告となりました。

ヒメキンカライソギンチャク *Stylobate calcife* Yoshikawa & Izumi 2022

大きさ：高さ 1~2 cm 幅（直径）：3~4 cm

分布域：房総半島から紀伊半島にかけての水深約 100~400m の深海底

特徴：本種は特定の 1 種のヤドカリ、ジンゴロウヤドカリと共生関係を築いています。また宿主ヤドカリが貝殻の引っ越しする際には、ヤドカリがヒメキンカライソギンチャクを新しい貝殻へと持ち運ぶ行動も確認されているため、両者は非常に強い共生関係にあると予

想されます。



選出団体

World Register of Marine Species (WoRMS) <https://www.marinespecies.org/index.php>

(*)WoRMS とは、海洋生物種の学名と分類学的情報に関するデータベースを構築する大規模な国際プロジェクトであり、世界各地の研究機関に所属する 600 人以上の研究者が「編集者」となり、それぞれが専門とする海洋生物種に関する情報の登録を行っています。WoRMS では毎年、前年に発表されたすべての海洋生物の新種から「注目すべき海洋生物の新種トップ 10」を選出し、「分類学者に感謝する日」とされている 3 月 19 日に発表しています。

掲載ページ

<https://lifewatch.be/en/2023.03.19-WoRMS-LifeWatch-press-release>

2022 年 4 月 26 日掲載プレスリリース「ヤドカリの“宿”を作る新種のイソギンチャク！？
—深海の驚くべき共生関係」

<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/research/news/2022/20220426.html>

発表論文

雑誌名：「Biological Bulletin」(4 月 25 日付)

論文タイトル: Carcinoecium-forming sea anemone *Stylobates calcifer* sp. nov. (Cnidaria, Actiniaria, Actiniidae) from the Japanese deep-sea floor: a taxonomical description with its ecological observations

著者:

Akihiro Yoshikawa*, Takato Izumi*, Takeya Moritaki, Taeko Kimura, Kensuke Yanagi

DOI 番号: <https://doi.org/10.1086/719160>

東京大学 大気海洋研究所 附属国際・地域連携研究センター

特任研究員 吉川 晟弘 (よしかわ あきひろ)

E-mail: akj.kt.ex80@gmail.com